

## マガン(カモ科) 全長72センチ

10月10日、天然記念物に指定されるマガンが大仙市に飛来した。県内の主な飛来地は能代市の小友沼周辺と大湊村といわれます。

大仙市の上空を100羽以上の編隊を組みながら通過することがあるが、市内に降り立つことは滅多にありませんでした。



ひこばえの田んぼに降り立ち、周囲を警戒。

秋の収穫作業も終わり静けさを取り戻した大浦沼周辺の田んぼは、刈り取り後に生えてきたひこばえが鮮やかな緑色に染め上げました。4羽のマガンはここに降り立ち盛んに餌を食べていた。落穂と柔らかいひこばえが御馳走でしょうか。



左のマガンは落穂を食べているようだ。



田植え後の田んぼのような眺めです。

暫くすると、曇り空からにわかには暗くなり強風とともに雨脚がどんどん激しくなった。マガンはじっと耐えるしかありません。

しかし、20分後には悪天候も夕立のように過ぎ去った。マガンはこの時を待っていたかのように南に向かって飛び去った。

その後、東西どちらかに向ったのかは確認できませんでしたが、貴重なひと時を楽しませてくれました。



急激に振り出した雨に戸惑っているようだ。



さあ～これから飛び立つぞ～と、羽ばたきの練習。